

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東群馬看護専門学校
設置者名	学校法人 平成学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科	夜・通信	120単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務室窓口にて閲覧可能（実務経験のある教員による授業科目一覧表）

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東群馬看護専門学校
設置者名	学校法人 平成学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公開 ホームページ→情報公開 (http://www.h-gunma.jp/publics/index/62/#page-content)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	太田市長	2020.4.8～ 2024.4.7	公的機関との 継続性
非常勤	常磐学園理事長	2020.4.8～ 2024.4.7	学校運営の助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東群馬看護専門学校
設置者名	学校法人 平成学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業方法(講義、演習)、内容、講義回数、科目のねらい、成績評価(筆記試験、レポート)を記載した授業計画(シラバス)を作成している。</p> <p>成績評価基準はAA90点以上、A80点以上90点未満、B70点以上80点未満、C60点以上70点未満、D60点未満の5段階で表し、C60点以上を合格点とする。内容について学生便覧に掲載し、授業計画(シラバス)にも評価は記載している。授業計画(シラバス)は、毎年、科目担当が授業評価を実施し、授業内容、教科書を再検討し作成している。</p> <p>授業計画(シラバス)の見直しを12月頃に実施し、新年度4月には各学年に配布できるように準備している。また、新入生には入学前オリエンテーション時に説明を実施している。</p>	
授業計画書の公表方法	事務室窓口にて随時閲覧が可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>単位認定及び科目の評価において、講義を主とする授業科目について、15時間から30時間をもって1単位とし、演習を主とする授業科目について、30時間をもって1単位とする。</p> <p>成績の評価は原則として、100点満点とし、60点以上を合格とする。成績の判定は5段階で表し、C以上(60点)を合格点とし、単位認定している。</p> <p>科目に係る出席時間数とその授業時間の3分の2に達しない学生は、該当科目について評価を受ける資格を与えない。</p> <p>以上の規定を学則に基づき適切に実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価においては、成績管理システムを導入し、各学年時の履修科目の成績、学年時各科目及び総合科目の順位、科目の平均点を算出し、データ、分布把握している。</p> <p>成績評価は前期、後期に学生に送付し、成績順位下位 10 名程の成績不良者は学習支援をしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>事務室窓口にて随時閲覧が可能</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育理念、教育目的、教育目標、卒業生の特性、アドミッションポリシーについては明文化している。</p> <p>教育理念では、人間尊重を基盤にして、豊かな人間性と感性を培い主体的に学ぶ姿勢と事象を科学的に捉える力を養い、地域の要請に応え、看護を通して地域社会に密接にかかわり、保健医療福祉の発展に貢献できる専門職業人を育成するとし、卒業時に身につける資質、能力として、1)、人として生命と個々の人格を尊重し、自己を見つめ他者を理解する姿勢を持つことができる。2)、日常の生活の場、地域・国などのさまざまな環境、施設・病院・災害時などの特殊な環境下において生活する人間を理解し、看護技術を適用し生活環境を調整する。3)、あらゆる健康の状態に応じて科学的裏付けに基づいた看護を実践する。4)、看護チームの一員として、リーダーシップ・メンバーシップの必要性を理解し行動がとれる。5)、保健医療福祉チームの一員としての看護師の役割を自覚し、責任ある行動がとれる。6)、看護を探求する姿勢をもち、看護観が形成できる。以上の1)～9)を目指している。</p> <p>卒業の要件として、欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えた者には卒業を認めない。また、学則に定める授業科目120単位を修得しなければならない。</p> <p>すべての卒業要件を満たした者については、卒業認定会議を経て、学校長が卒業を認定する。</p> <p>以上の規定を学則に基づき適切に実施している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>事務室窓口にて随時閲覧が可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東群馬看護専門学校
設置者名	学校法人 平成学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページに掲載 http://www.h-gunma.jp/files/libs/778/202008181748207788.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページに掲載 http://www.h-gunma.jp/files/libs/778/202008181748207788.pdf
財産目録	ホームページに掲載 http://www.h-gunma.jp/files/libs/778/202008181748207788.pdf
事業報告書	ホームページに掲載 http://www.h-gunma.jp/files/libs/778/202008181748207788.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページに掲載 http://www.h-gunma.jp/files/libs/778/202008181748207788.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	120単位時間/単位	97単位		23単位		
		単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210人		210人	0人	15人	48人	63人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）、学生便覧に詳しく掲載されている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は5段階評価（AA、A、B、C、D）とし、C（60点以上）を合格点とする。成績管理システムにて各学年次の総合科目成績、順位の成績判定している。学則の規定に基づき、授業計画（シラバス）・学生便覧に詳しく掲載されている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の要件として、欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えた者には卒業を認めない。また、120単位を修得しなければならない。学則に定める授業科目及び単位数を取得した者については、卒業認定会議を経て、学校長が卒業を認定する。 以上の規定を学則に基づき適切に実施している。

学修支援等 (概要) 成績順位下位10名程度の学生には前期、後期の開始前に面接を実施する。 授業終了後、学生に学習方法の個人指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58人 (100%)	0人 (0%)	58人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 出願書類の確認、小論文対策、面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師免許			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
211人	12人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出欠状況が悪い学生には早急に面接を実施している。 また、退学に至った学生については、面接等で就職等のアドバイスを実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円	600,000 円	400,000 円	施設設備費 250,000 円 実験実習費 150,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 随時閲覧可能 ホームページに掲載 (ホームページ→情報公開→学校関係者評価、自己評価) http://www.h-gunma.jp/files/libs/759/202004010908033059.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価の実施については、自己評価結果について選出された学外委員に評価の説明と課題点、改善点について協議する。現在、学外委員は臨地実習施設関係者、本校卒業生、在校生の保護者となっている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美原記念病院	令和元年10月1日～ 令和4年9月30日	臨地実習施設関係者
本島総合病院	令和元年10月1日～ 令和4年9月30日	本校卒業生
訪問看護ステーション新橋	令和元年10月1日～ 令和4年9月30日	在校生の保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページに掲載 (ホームページ→情報公開→学校関係者評価、自己評価) http://www.h-gunma.jp/files/libs/759/202004010908033059.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページに掲載 (http://www.h-gunma.jp)
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	東群馬看護専門学校
設置者名	学校法人 平成学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		32人	29人	61人
内 訳	第Ⅰ区分	15人	17人	
	第Ⅱ区分	9人	7人	
	第Ⅲ区分	8人	5人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				61人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	3人	0人	3人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	3人	0人	3人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	1人
3月以上の停学	0人
年間計	1人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。